

## ～2017年業績集～

### 【著書】

- 1) 西崎和則：3. 外耳道操作 6)外耳道閉鎖症の手術. 『改訂第 2 版イラスト手術手技のコツ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 耳・鼻編』監修/村上泰、久育男 編集/小川郁、河田了、岸本誠司、春名眞一、東京医学社:52-55.
- 2) 西崎和則：2 小耳症・外耳道閉鎖症・外耳道狭窄症. 『小児耳鼻咽喉科 第 2 版』日本小児耳鼻咽喉科学会/編、金原出版:103-109.
- 3) 西崎和則：§ 18-5 小耳症・先天性外耳道閉鎖症. 『1336 専門家による私の治療 201718 年度版』猿田享男 北村惣一郎/監修、日本医事新報社:1331-1332.
- 4) 井口郁雄：1 鼻出血. 『小児耳鼻咽喉科 第 2 版』日本小児耳鼻咽喉科学会/編、金原出版:168-174.
- 5) 岡野光博：2 アレルギー性鼻炎. 『小児耳鼻咽喉科 第 2 版』日本小児耳鼻咽喉科学会/編、金原出版:174-180.

### 【原著論文】

- 1) Kariya S, Okano M, Oto T, Higaki T, Haruna T, Noda Y, Nishizaki K : The impact of chronic rhinosinusitis on long-term survival in lung transplantation recipients. *Acta Otolaryngol* 137:529-533. (IF=1.116)
- 2) Maeda Y, Omichi R, Sugaya A, Kariya S, Nishizaki K : Cochlear transcriptome following acoustic trauma and dexamethasone administration identified by a combination of RNA-seq and DNA microarray. *Otol Neurotol* 38:1032-1042. (IF=2.024)
- 3) Miki K, Orita Y, Gion Y, Takao S, Ohno K, Takeuchi M, Ito T, Minoura A, Tachibana T, Marunaka H, Makino T, Matsukawa A, Nishizaki K, Yoshino T, Sato Y : Tumor-associated macrophages in the development of 4-nitroquinoline-1-oxide-induced tongue squamous cell carcinoma in a mouse model. *Oncology* 93:204-212. (IF=2.262)

- 4) Noyama Y, Okano M, Fujiwara T, Kariya S, Higaki T, Haruna T, Makihara SI, Kanai K, Koyama T, Taniguchi M, Ishitoya JI, Kanda A, Kobayashi Y, Asako M, Tomoda K, Nishizaki K : IL-22/IL-22R1 signaling regulates the pathophysiology of chronic rhinosinusitis with nasal polyps via alteration of MUC1 expression. *Allergol Int* 66:42-51. (IF=3.194)
- 5) Kanai K, Okano M, Haruna T, Higaki T, Omichi R, Makihara SI, Tsumura M, Kariya S, Hirata Y, Nishizaki K : Evaluation of a new and simple classification for endoscopic sinus surgery. *Allergy Rhinol (Providence)* 8:118-125. (IF=2.135)
- 6) Fujino H, Fukushima K, Fujiyoshi A : Theory of mind and language development in Japanese children with hearing loss. *Int Pediaotr Otorhinolaryngol* 96:77-83. (IF=1.159)
- 7) 井口郁雄：喉頭科学と地域医療 広島県地方部会における嚥下診療の取り組み. 喉頭 29:30-36.
- 8) 宇野芳史、工藤典代：小児急性中耳炎に対するトスフロキサシン細粒小児用 15%の有効性についての検討—TFLX は小児急性中耳炎中等症例の鼓膜切開術を回避できるか—. 日耳鼻感染症エアロゾル会誌 5:69-75.
- 9) 土井彰、田村耕三、福本品、小桜謙一、高野浩章、中須賀彩香、赤木博文：当科で扁桃摘出術を行った掌蹠膿疱症症例からみた再発要因の検討. 口腔・咽喉科 30:209-213.
- 10) 片岡祐子、菅谷明子、前田幸英、假谷伸、大道亮太郎、福島邦博、西崎和則：複数の遺伝子ヴァリエントを有する難聴者における遺伝子カウンセリング経験. 日耳鼻会報 120:131-136.
- 11) 花川浩之、門田伸也、橋本香里、岡愛子：甲状腺髄様癌の治療実態 ATA ガイドラインとの比較. 頭頸外科 27:235-239.
- 12) 福増一郎、井口郁雄、綾田展明、江草憲太郎、皆木正人、森田慎也：耳鼻咽喉科時間外救急患者の検討. 広市病医誌 33:37-41.

- 13) 岡愛子、牧原靖一郎：扁桃周囲膿瘍の CT 所見と臨床経過. 日気管食道会報 68:217-221.

【原著症例報告】

- 1) Maeda Y, Sasaki R, Sawaki Y, Sato K, Ohta Y, Abe K, Nishizaki K : Sudden hearing loss due to anterior inferior cerebellar artery infarction. Otol Neurotol 38:e3-e4.  
(IF=2.024)
- 2) 假谷伸、岡野光博、檜垣貴哉、春名威範、牧原靖一郎、大道亮太郎、西崎和則：意識障害を契機に発見された前頭洞型髄膜脳瘤例. 日鼻科会誌 56:564-569.
- 3) 片岡祐子、内藤智之、假谷伸、菅谷明子、前田幸英、福島邦博、西崎和則：MRI 検査後に人工内耳インプラント磁石の反転を来した 2 症例. 日耳鼻会報 120:727-732.
- 4) 橘智靖、折田頼尚、牧野琢丸、小松原靖聡、西崎和則：気管憩室を併存した甲状腺乳頭癌例. 日内分泌・甲状腺外雑誌 34:65-69.
- 5) 橘智靖、牧野琢丸、松山祐子、小松原靖聡、高木慎二郎、高谷昌宏、森下博文、信久徹治：当科における咽頭・食道異物症例の臨床的検討. 姫路市医師会報 391:20-23.
- 6) 金井健吾、岡野光博、折田頼尚、野山和廉、檜垣貴哉、春名威範、假谷伸、小山貴久、大道亮太郎、佐藤康晴、安藤翠、平田裕二、西崎和則：IgG4 陽性形質細胞の集簇を認めた鼻腔底 Reactive lymphoid hyperplasia 症例. 日鼻科会誌 56:619-624.
- 7) 浦口健介、牧原靖一郎、内藤智之、岡愛子、假谷伸、岡野光博、西崎和則：前頭洞・蝶形骨洞に同時に発見された副鼻腔真菌症例. 日鼻科会誌 56:625-631.
- 8) 浦口健介、牧原靖一郎、内藤智之、岡愛子、假谷伸、岡野光博、西崎和則：前頭洞・蝶形骨洞に同時に発見された副鼻腔真菌症例. 日鼻科会誌 56:625-631.
- 9) 小松原靖聡、橘智靖、牧野琢丸、直井勇人、清水藍子、宇賀麻由、三森天人：CT ガイド下マーキングが有用であった頸部魚骨異物例. 耳鼻・頭頸外科 89:849-853.

- 10) 秋定直樹、石原久司、藤澤郁、竹内彩子、赤木成子：岡山赤十字病院における 2016 年度の夜間・休日耳鼻咽喉科救急患者の検討．岡山赤十字病院医学雑誌 28:34-38.
- 11) 直井勇人、橘智靖、牧野琢丸、小松原靖聡、三森天人：開口障害を伴った小児蝶形骨洞炎例．耳鼻・頭頸外科 89:465-469.
- 12) 藤吉昭江、宇野彰、豊島義哉、福島邦博：仮名のみで読み書き障害を呈した後天性脳損傷小児例．音声言語医 58:22-28.
- 13) 加藤睦子、田邊真理子、野田拓志、中山正、竹内彩子、妹尾一範、石原久司、小山貴久、赤木成子、杉山成史、山田潔：眼窩壁骨折 96 例の臨床的検討．岡山赤十字病医誌 28:39-48.

#### 【総説】

- 1) 西崎和則：中枢性聴覚機能検査の有用性．ラウンドミラー35:11-12.
- 2) 赤木博文：他科の先生に知って欲しい豆知識 耳鼻咽喉科編④ 扁桃病巣疾患を知っていますか？．岡山県医師会報 1453:270.
- 3) 岡野光博：特集 メディエーターと新しい受容体拮抗薬 VI. CRTH2 受容体拮抗薬．アレルギー・免疫 24:50-56.
- 4) 岡野光博：舌下免疫療法では高用量でも抗原抗体反応の起こりにくい理由は？高量域免疫寛容を誘導するため．日本医事新報 4852:61-62.
- 5) 岡野光博：アレルギー性鼻炎に対する（舌下）免疫療法の作用機序．アレルギーの臨床 37:21-25.
- 6) 岡野光博、古館佐起子：耳鼻咽喉科 免疫療法とアレルギー性鼻炎患者の QOL．アレルギー・免疫 24:1210-1217.
- 7) 岡野光博：アレルギー免疫療法の基礎．医学のあゆみ 262:267-271.

- 8) 岡野光博、品川潤：(第4章) 治療 抗プロスタグランジン D2・トロンボキサン A2 受容体拮抗薬. 最新医学 別冊アレルギー性鼻炎:77-85.
- 9) 福島邦博：聴覚・言語発達の異常と対応 新生児聴覚スクリーニング、難聴遺伝子. 日耳鼻会報 120:727-732.
- 10) 福島邦博：臨床力 UP!耳鼻咽喉科検査マニュアル ことばの検査言語発達の検査. 耳鼻・頭頸外科 89:390-394.
- 11) 福島邦博：自動発達支援事業 KIDS\*FIRST 聴覚・発達障害児に言語発達指導で学習、コミュニケーションの基盤を 関連施設とも連携、早期介入が鍵. 美蕾 126:20-23.
- 12) 福島邦博：診療つれづれ 自動発達支援事業・放課後等デイサービス事業 “KIDS\*FIRST” . JOHNS 33:930-932.
- 13) 福島邦博：耳・聴覚・言語発達 言語発達に関する診断法と評価法は？ JOHNS 33:1407-1412.
- 14) 折田頼尚：頭頸部腫瘍とヒトパピローマウイルス (HPV). 耳鼻臨床 110:719-723.
- 15) 片岡祐子、西崎和則：新生児聴覚スクリーニングについて. 月間母子保健 696:(8).
- 16) 片岡祐子：他科の先生に知って欲しい豆知識 耳鼻咽喉科編③ きこえと補聴器. 岡山県医師会報 1449:63-64.
- 17) 前田幸英、池園哲郎：メニエール病診断基準 日米欧の基準を比較して. Equilibrium Research 76:8-16.
- 18) 春名威範、岡野光博、檜垣貴哉、牧原靖一郎：VII. 鼻噴霧ステロイドの効果的な使い方の研究. アレルギー・免疫 24:52-57.
- 19) 橋本香里、門田伸也：喉頭全摘術で腫瘍切除の際のマージンの取り方について教えてく

ださい. JOHNS 33:1286-1288.

【その他】

- 1) 齋藤稚里：女性医師コーナーEnJoi通信 卒後 40 年. 岡山県医師会報 1463:1220-1221.
- 2) 藤本政明：障害を長所に換える. SSKO 全難聴だより岡山支部 岡山難聴 527:(1).
- 3) 宇野欽哉：会員の声 第 44 回全日本医師テニス岡山大会およびスポーツ予防医学研究会を終えて. 岡山県医師会報 1465:1409-1410.
- 4) 福島邦博：セルフアボドカシー. SSKO 全難聴だより岡山支部 岡山難聴 529:(1).
- 5) 山下安彦：耳鼻咽喉科 10 年の回顧と今後の展望. 福山市民病院広報誌ばら 75:19.